

窓から宍道湖を臨み、広がる青空。

緑に恵まれた玉湯の丘で期待に応える病院を目指します。

No. 44
2016年 夏号

JCHO玉造病院広報誌

たまつくり

Now ナウ



ナビゲーションシステムを用いた人工股関節手術

CONTENTS

最新医療レポート	2・3
TOPICS	4・5
部署紹介 感染対策室	5
コツコツ通信／今月のレシピ	6
新職員紹介	7
INFORMATION	8

人工関節手術件数 9,435件 (6月30日現在)

理 念

私たちは心温まる医療を実践します。

基本方針

1. 患者さんの立場に立った安心・安全な医療を行います。
2. 医療人として責任を自覚し、高度で良質な医療を行います。
3. 整形外科とリハビリテーションの基幹病院として、患者さんの身体機能の回復・維持、生活の質の改善を支援します。
4. 地域の医療・介護・福祉機関と連携し、地域に根ざした医療の充実に努めます。
5. 人材育成を進め、働きがいのある病院づくりに努めます。



Japan Community Health care Organization JCHO / ジェイコー
独立行政法人地域医療機能推進機構

玉造病院

術中ナビゲーションシステム

— 人工股関節置換術に応用 —



整形外科 医長

長谷川 泰隆

人工股関節置換術は高度の関節破壊や変形に伴う障害を有する股関節の機能を劇的に改善する優れた治療法で、その治療成績も安定しています。しかしながら、どのような優れた治療法にも頻度は少ないものの合併症というものは存在します。

人工股関節置換術後の合併症の中で、特に注意を要するものの一つが術後脱臼です。急に無理な姿勢をとったりすると人工関節がはずれてしまうことがあります（図1）。このような場合は医療機関で麻酔下に足を引っ張って、整復操作を行う必要があります。術後脱臼の頻度は0.4~2.5%と報告されており、脱臼を繰り返す例では再手術が必要となることがあります。人工関節はゆるみや感染など何らかの理由で再手術が必要となることがあります。再手術が必要となった症例のうち、脱臼が理由で再手術が行われるのは8.9%とされています。

脱臼の要因には、様々なものがありますが、その一つが白蓋側カップの設置角度の問題です。患者様によっても異なりますが、カップの設置角度の目標は一般的には前開き15°前後と言われています。前開きが強くなりすぎれば前方に脱臼しやすくなりますし、逆に前開きが少なすぎれば（後ろ開きでも）、後方に脱臼してしまいます（図2）。この設置角度を安定させるために使用されるのが、術中ナビゲーションシステムです。

手術は横向きに寝た体位で行いますが（仰向けで行う場合もあります）、手術中の患者様の体は前方や後方に傾くことがあり、骨盤の傾きは一定ではないため、目標の角度にカップを設置するのは意外と難しいものです。カップの設置角度を安定させるために当院では術中にレントゲン撮影を行い、骨盤の傾きや設置角度を確認しながら手術を行っていました。設置角度の精度をさらに向上させる目的で昨年度より、当院

では術中ナビゲーションシステムを導入しました。

当院で使用しているものはCTベースナビゲーションと言われる術中ナビゲーションシステムです。まず、術前に3-D CTを撮影し、三次元術前計画ソフトを使用して人工関節のサイズや設置方向などの設計図を作成しておきます。

術中は、骨盤側の腸骨稜と言われる部分にピンを3本刺入し、発光LEDマーカーを設置します。マーカーにより骨盤の空間的位置は光学式センサーカメラを介してナビゲーション器機に常にモニターされることになります(図3)。このため骨盤が傾いたとしても、その傾きはナビゲーション器機が把握しているため、傾きの影響は受けなくなります。

一方、臼蓋側カップを設置するために骨を削掘する臼蓋リーマーやインプラントを打ち込む把持器などの手術器具にも発光LEDマーカーを装着します。

ナビゲーションシステムの光学式センサーカメラが骨盤側と手術器具側のマーカーの位置関係を把握し、これら術野の位置情報と術前計画とを関連づけることで、(図4)のような画面がモニターに表示されます。

この画面を参考にしながら、青い線で描かれた術前計画のカップに合わせて、黄色い線で描かれた実際のカップを重ねて設置させることにより、術前計画通りのカップの設置が再現されることとなります。

設置角度の誤差は5°以内が望ましいとされていますが、CTベースナビゲーションを使用した場合、計画時と実際に設置されたカップの前開きの角度の差は3°以内と言われています。

当院では長年の豊富な経験から正確な設置がなされており術後の脱臼率も0.8% (過去5年間648例中5例)であり良好な成績が得られていますが、今後ナビゲーションシステムを使用することにより、さらに正確なインプラントの設置が可能になると考えられます。

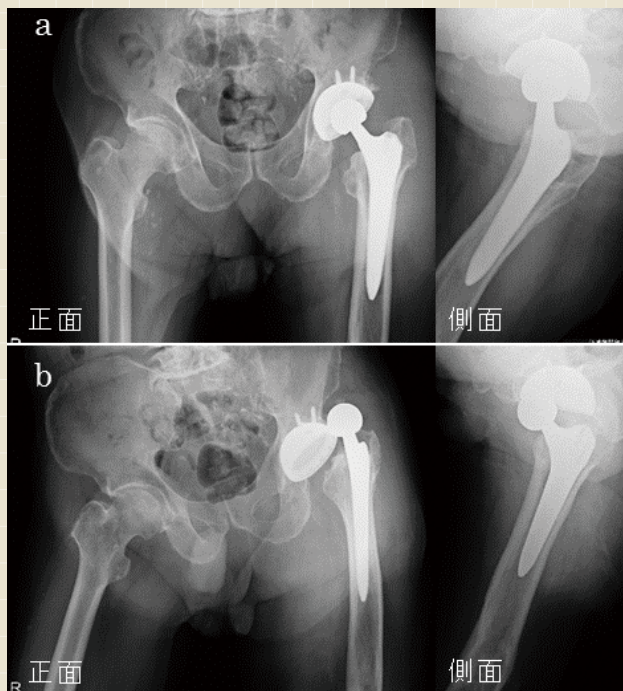
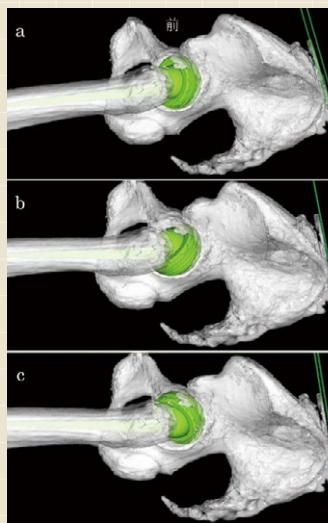
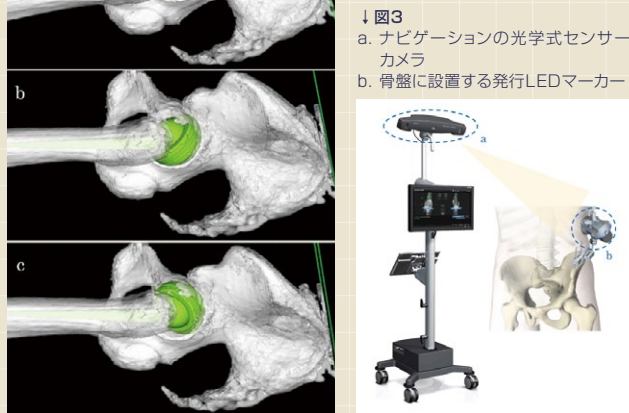


図1 a.左人工股関節置換術後【正常】
b.左人工股関節置換術後【脱臼時】



←図2
a.前開き15°→一般的な設置目標角度
b.過大な前開き→前方に脱臼しやすい
c.後ろ開き→後方に脱臼しやすい



↓図3
a. ナビゲーションの光学式センサーカメラ
b. 骨盤に設置する発行LEDマーカー

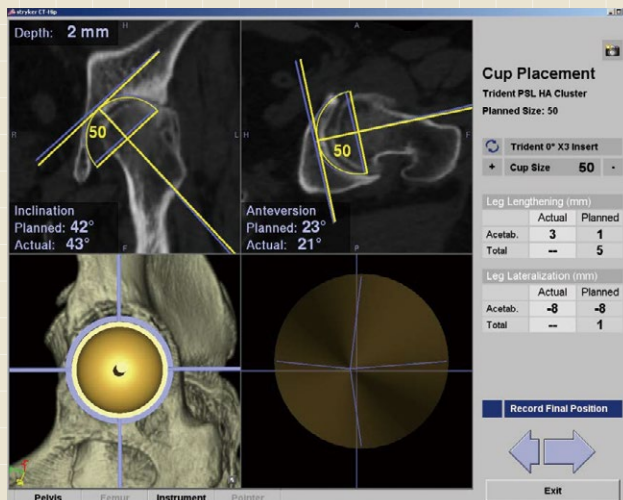


図4 青色：術前計画のカップ
黄色：実際のカップ

TOPICS

新人看護師研修の取り組み

安全・安楽な看護を提供するために

東2病棟 副看護師長
神庭 美保

当院では今年度、10名の新人看護師を迎え入れました。新人看護師たちは、これからはじまる看護師の仕事について、期待に胸を膨らませワクワクしていると思います。しかしその反面、看護の知識や看護技術の未熟さに、不安や戸惑いを抱えています。その不安を少しでも軽減し、早く仕事に慣れてもらえるよう、入職時に新人看護師に対しオリエンテーションや研修を実施しています。中でも看護技術の研修は欠かすことができません。

副看護師長を中心に、食事介助や車椅子の移送方法、また採血や注射方法など、様々な技術について研修を行っています。看護技術研修の目標は、「診療の補助業務に関して安全を守る実践的な技術を習得すること」です。研修では、先輩看護師からの講義を聴き、実際に看護技術演習を行います。みんな技術習得のために真剣に取り組み、また積極的に質問をするなど研修に対する前向きな姿勢がうかがえ、頼もしいと感じています。

新人看護師は、看護師としての道を踏み出したばかりですが、患者様に安全で安心できる療養生活を送って頂けるよう、また患者様に信頼してもらえるよう、日々新たなことに取り組み頑張っています。新人看護師の成長を温かく見守り、自立に向けて支援していきたいと思っています。



新人看護師技術研修に参加して

今年の4月に入職し、日々の業務を行いながら新人看護師技術研修を受けさせていただいています。食事介助など患者様の日常生活に関する援助、採血や与薬といった内容を、講義や演習を通して学んでいます。研修で習った内容は、病棟で先輩看護師の指導を受けながら患者様に実践することになります。学生のころとは違い、研修で学んだことがすぐに活かせることに、看護師としてのやりがいと責任を感じています。患者様に安心して入院生活を過ごしていただくためには、看護技術の手技的なことだけでなく、ケアを行っている時の患者様の表情や身体的苦痛はないか、など細やかな心遣いが必要であることを実感しています。患者様が安楽に食事できるような体位や食事介助の仕方、採血を行う際の患者様の表情や体勢はどうかなど、研修で学んだ内容再認識する日々です。これからも研修での学びや気づきを活かせるよう日々研鑽を積んでいきたいと思っています

新人看護師研修を受けて

4月1日に入職し約2週間新人看護師研修を受けさせていただきました。講義の中で、玉造病院の概要や方針、法律・経営などについても学ぶことができました。また理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士の方の説明・見学を通して、チーム医療の大切さを学びました。さらに義肢科や中央監視室といった部門の方達の実際の作業を見学し、様々な職種がチームとなって患者様を支えているのだと学び、私自身もそのチームの中の一員なのだと感じ、責任感が強まりました。4月中旬からは病棟での勤務が始まり、実際に患者様と関わらせていただいています。患者様と関わる中で、日々患者様の思いに寄り添った看護の大切さを学んでいます。新人研修ではひとつひとつの技術について丁寧に指導して下さい、演習することにより患者様の立場を考え、自身が行った看護を振り返り、日々の現場で活かせる学びを深めています。これからも研修を積み重ね、日々精進していきたいと思っています。



西3病棟 看護師
今岡 渚



西4病棟 看護師
柏井 晴美



感染対策室



感染対策室師長
感染管理認定看護師
石倉 淳子

当院には、患者さんや職員の安全に特化し、組織横断的に活動を行う「医療安全管理部」が組織されています。医療安全管理室・総合相談室・感染対策室の3つの窓口を持っていますが、今回は「感染対策室」について紹介させていただきます。

私は室長の芦沢信雄副院長指揮の元、感染対策室師長として見えない敵（細菌やウイルスなど）と闘えるよう日々奮闘しています。この7月には活動拠点となるスペースも新たにでき、データ収集や整理、ミーティングなど感染対策に必要な情報管理部分がさらに充実できると期待しています。

感染対策は「病院に出入りする全ての人」が対象です。外来、入院、患者、職員、業者、実習学生など、場所や人を問いません。そのために感染症の流行する時期にはマスクの装着や面会制限などみなさまに協力をお願いすることもあります。感染を起こさないようにあるいは、感染が早く改善するように医師、看護師はもちろん、薬剤師や臨床検査技師、事務部門とも連携しチームを組んで実践していくことが重要です。感染対策チームの活動として、週1回、微生物培養結果を基にした薬剤の適正使用の検討や院内ラウンドによる現場の確認を行っています。同時に各部署とコミュニケーションをとりながら風通しのよい関係作りに心がけています。

これからの季節、夏風邪と言われる感染症や食中毒に注意が必要です。またマダニや蚊など虫による感染症発生率も高くなってきます。みなさまが元気に、また順調に治療やリハビリが進むよう感染対策室を中心に活動していきたいと思います。今後ともどうかよろしくお願いたします。



コツコツ通信

『骨粗しょう症にならないための
コツコツレシピ』スタンド

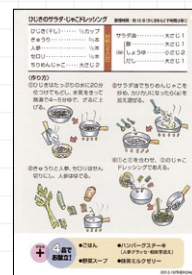
放射線室 診療放射線技師（骨粗鬆症マネージャー） 須田 学

「骨粗しょう症予防には食事が大切!」とい
うことで、整形外科外来待合廊下に

**骨粗しょう症にならないための
コツコツレシピスタンド
を設置しました。**

骨の健康に欠かせないカルシウムを多く含
んだ「豆腐」、「魚貝」、「乳製品」、「野菜」、「海
藻」などの食材を使った12種類のかんたん
料理レシピカードをご用意しました。

このレシピカードは、それぞれの季節の食
材を使った料理に定期的に更新していきま
すので、ご自由にお持ち帰りいただき、日々
の食生活にお役立て下さい。



骨密度検査を受けて、今現在の「骨」の状態をチェック
してみませんか? 「骨粗しょう症が気になる」「骨密度検
査を受けて自分の骨の状態を知りたい」という方はお気軽
に主治医、看護師にご相談下さい。



今月の Recipe of this month
当院の管理栄養士が健康や美容などに
効果的なレシピをご紹介します

レシピ

管理栄養士 周藤 あゆみ

夏パテ!!

夏本番に向かって、だんだん暑くなって
きました。

今回ご紹介するのは夏パテ防止にぴった
りの、ビタミン・ミネラルを豊富に含んだ
豚肉と鶏レバーを使った「パテ」です。

豚肉やレバーに含まれるビタミンB群
は、疲労回復効果が期待できます。また鉄
分は、女性の美容と健康・スポーツをする
方に欠かせない栄養素です。

ビールや赤ワインとも良く合うので、
ホームパーティーにも使えると思います。し
かし、アルコールの飲み過ぎにはくれぐれ
もご注意を…。

◎レシピ(6~8人分)

熱量：151kcal/たんぱく質：12.4g/脂肪：9.9g(1人あたり)

●材 料	赤ワイン	大さじ1	
豚ひき肉	300g	片栗粉	小さじ2
鶏レバー	80g	塩	小さじ1
玉ねぎ	80g	ナツメグ(粉末)	少々
卵L	1/3個	タイム(粉末)	少々
卸にんにく	大さじ1	胡椒	少々
バター	大さじ1	ローリエ	2枚



●作り方

- ① 鶏レバーは、筋や脂肪などの白い部分や血の塊などを丁寧に取り除き流水で洗う。分量外の牛乳に30~40分漬ける。レバーについた牛乳を洗い流し、キッチンペーパーで水気を切る。
- ② 玉ねぎをみじん切りにし、フライパンに卸ニンニク・バターを熱し、玉ねぎがしんなりするまで炒め冷ましておく。
- ③ ②と①をフードプロセッサーに入れ、全体が滑らかになるように回す。(または、包丁で細かく刻む)
- ④ ボウルに③・豚ひき肉・溶き卵・赤ワイン・片栗粉・塩・ナツメグ・タイム・胡椒・を入れ、粘りがでるまでよく混ぜ合わせる。
- ⑤ ④を耐熱容器(使い捨てのアルミ製パウンドケーキ型等)に入れ、上から押し詰める。
- ⑥ ⑤に、ローリエを乗せてアルミホイルをかぶせる。
- ⑦ 天板に⑥を載せて水を張り、予熱したオーブンで180℃・60分湯せん焼きにする。焼きあがったら⑦に重石*1をして、粗熱をとった後冷蔵庫で少し寝せれば出来上がり。マスタードやパンと一緒にどうぞ。

*1 ちょうど良い重石がない時には、同じ耐熱容器や型をもう一つ準備しておいて利用すると綺麗に形ができますよ。

*分量の鶏レバーと豚ひき肉の割合は、お好みの分量で調整されて大丈夫です。

新職員紹介

N E W F A C E



西3病棟 看護師
今岡 渚

優しく丁寧な先輩方の指導のもと、学びの多い充実した日々を送っています。患者様が安心してできるよう、笑顔と思いやりを忘れない看護師を目指し頑張ります



西4病棟 看護師
柏井 晴美

日々先輩看護師の丁寧な指導のもと、看護技術を習得し、患者様に安全・安楽な看護を提供できるよう頑張っていきたいと思っています



西2病棟 看護師
小泉 優奈

優しい先輩方から丁寧に指導をして頂きながら日々学んでいます。患者様に信頼して頂け、心の支えになれるような看護師を目指し頑張りたいと思います



手術室 看護師
早川 明日香

手術室は覚えることも多く緊張の毎日ですが、丁寧に教えて下さる先輩方に少しでも近づけるよう頑張りたいと思います



東3病棟 看護師
林 悠佳

日々明るく素敵な先輩方、また患者様から様々なことを学ばせて頂いています。看護師として成長していけるよう知識・技術を身につけていきたいと思っています



西3病棟 看護師
藤木 佑美

明るく優しい先輩方のご指導を受け、日々学びを得ています。笑顔をお返しし、患者様の心の支えになれるように頑張りたいと思います



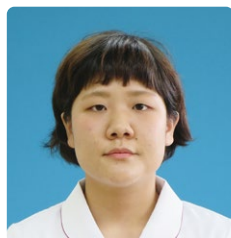
東2病棟 看護師
本常 ひとみ

慣れないことが多いですが、先輩方から丁寧に指導・助言を頂きながら少しずつできることを増やしていけるよう努力したいと思っています。笑顔を絶やさず頑張ります



西4病棟 看護師
昌子 亜矢

先輩方に親切・丁寧に指導頂き学びを深めています。患者様に安心・安全・安楽な看護を提供できるよう、日々精進していきたいと思っています



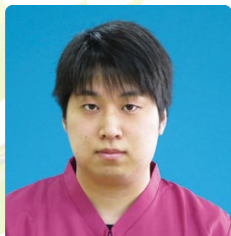
東2病棟 看護師
三代 さつき

覚えることがたくさんありますが、先輩方に丁寧に指導をして頂き日々多くの学びを得ています。患者様の思いに寄り添い、丁寧な看護ができるよう頑張ります



東2病棟 看護師
亀原 沙織

スタッフの方は優しく丁寧に指導して下さい、頑張っていきたいと思っています。今後よろしくお願ひします。



作業療法士
黒田 泰介

介護の研修からリハビリテーションに興味を持ち、今は作業療法士として当院で働くことができています。作業療法士として知識も技術も不足していますが、自己研鑽を続け、患者様に貢献できるように頑張ります。



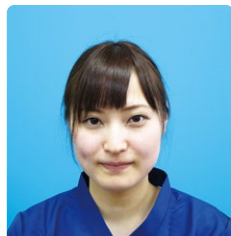
作業療法士
永瀬 陽大

今年松江総合医療専門学校を卒業し、4月から玉造病院で働き始めました。1年目で経験が浅く技術・知識ともに未熟ではありますが、先輩方の指導や勉強会での研修を糧に成長していきたいと思います。



理学療法士
花田 丈司

今年でPT4年目になります、花田丈司です。患者様が安心して日常生活が行えるように一緒に考え、相談しながらリハビリを行っていききたいと思います。よろしくお願ひします。



理学療法士
古川 千尋

5月からリハビリテーション室でお世話になっています。今までは3年間、岡山県の整形外科病院でPTとして勤務しておりました。まだまだ慣れない事が多いですが、今までの経験を生かして頑張っていきたいと思います。宜しくお願いします。



診療放射線技師
齊鹿 麻里子

4月から放射線室に勤務しています。先輩方の丁寧な指導により、スキルアップに励む毎日です。少しでも早く一人前となり、より良い画像を患者様に提供できるよう頑張りますので、これからよろしくお願ひします。

「患者さま」から「患者さん」へ

院長 池田 登

1990年代頃からいくつかの病院では患者に対する呼称に「さま」を使用するようになりました。このことに対して違和感を持っていた人も少なからずおられたと思います。ともすれば、医療者が患者に媚びているとも聞きとれかねません。各地で医療事故が多発し、患者が医療者に対して不信感を感じるようになったことが原因とも考えられています。患者はお客様ではありませんし、そこには上下関係はありません。当院の理念と基本方針で示しましたように、医療者と患者はともに同じ目線で「病」に対して立ち向かわなければなりません。

今回病院の職員間で検討した結果、患者に対する呼称を「〇〇さま」から「〇〇さん」へと変更することとしました。なにとぞご理解のほどよろしくお願いたします。



玉造病院 病診連携・症例検討会

地域連携室 石倉 彩奈

当院では、松江・出雲・浜田の3地区において病診連携・症例検討会を開催しております。

毎回多数の地域の先生方にお越しいただき、日頃お世話になっている先生方からのご意見を頂く、貴重な機会となっております。

また、懇親会では整形外科のみならず、内科の先生方にも多数ご参加頂き、診療科の垣根を越えた地域の先生方との繋がりを作る、有意義な会となりました。

病診連携は、医療を提供する上で欠かせないものとなっております。地域の医療機関の先生方と『顔の見える地域連携』を構築するための1つとして、今後も病診連携・症例検討会を継続していきます。

今後とも、当院の提供する地域医療にご協力お願いいたします。



※写真は4月27日に開催いたしました病診連携・症例検討会の様子です。

「杖ホルダー」を設置しました

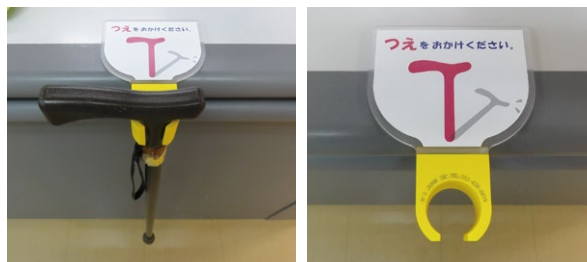
放射線室 診療放射線技師 須田 学

当院に来院される患者さんは、杖を使用している方が多く、受付カウンターなどで壁に立てかけた杖がぱたんと倒れ、患者さんが杖を拾い上げている光景をよく目にします。

そのため、「杖を掛ける場所を作らなければ…」と考えていました。

- ◎患者さんの杖を傷つけないために、
- ◎患者さんの転倒を未然に防止のために、

病院内のいくつかの場所に「杖ホルダー」を設置しましたので、是非、ご利用ください。



【設置場所】

- ◎医 事 課：3ヶ所
- ◎臨床検査室：1ヶ所
- ◎整形外科外来：5ヶ所
- ◎内 科 外 来：3ヶ所

左記以外に「杖ホルダー」の設置が必要と思われる場所がございましたら、職員にお知らせ下さい

あ
と
が
き

夏至も過ぎ、紫陽花がきれいに咲きみだれている玉湯川沿いを歩くのがとても気持ち良い季節です。春の健康診断の間診票で「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している。」の項目を回答する時にいつもその時だけ今年はやらないと思います。梅雨の晴れ間には、皆さん是非とも健康管理に努めましょう。

ホームページから
たまつくりNOWがダウンロードできます。
<http://tamahosp.jp>

- 編集・発行責任者 院長/池田 登
- 広報/川合 準



JCHO玉造病院
〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2
TEL.0852-62-1560

患者様の権利

あなたは、人種・国籍・性別・年齢・宗教、その他の個人的な背景に拘らず、差別なしに適切な医療を受ける権利を持ちます。
あなたは、担当の医師や病院を自由に選択できる権利を持ち、またどの治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を持ちます。
あなたは、すべての医療上の記録を知る権利を持ちます。また、医師から症状について十分な説明を受ける権利を持ち、自分自身に関わる治療方針を自由に決定できる権利を持ちます。
あなたのプライバシーと個人情報には完全に保護いたします。